

1	愛想を尽かす あいそ つかす	あきれて好意や愛情をすっかりなくし、関わり合いになりにたくないと思う。
2	開いた口が塞がらない あいたくち ふさがらない	相手の行動や態度等の様子に驚き、あきれ返ったものが言えない。
3	相槌を打つ あいづち うち	相手の話にうなずいて、調子を合わせる。
4	合の手を入れる あいのて いる	人の話や歌などの間に、かけ声などの言葉や動作を差し込み盛り上げる。
5	阿吽の呼吸 あうん こきゅう	二人以上の人が何かしている時、微妙な調子や気持ちがお互いに一致する。
6	青菜に塩 あおな しお	すっかり元気がなくなつて、しよげてしまう。
7	赤子の手をひねる あかご て	簡単に相手を負かしたり、物事をこなすことができる。
8	赤の他人 あか たにん	全く関わりのない完全な他人。
9	胡坐をかく あぐら	自分の地位や権力に甘えて努力をしない。
10	揚げ足を取る あし かし	人の小さなミスを目敏く見つけ、必要以上に相手を責める。
11	拳（揚）句の果て あけ く は	最終的に。最後には。いろいろした結果。
12	顎が干上がる あご ひあがる	収入がなくなり、生活に困る。
13	顎で使う あご つか	傲慢な態度で人を指図する。
14	顎を出す あご だ	疲れ切つてしまい、どうにもならない。
15	足が地に着かない あし ちにつかない	なにかに心を奪われ、興奮や緊張で、そわそわし、考えや行動がしつかりしない。
16	足が付く あし づく	犯人や逃亡者の身元や行方がわかる。悪事がばれる。
17	足が出る あし で	出費が収入を超え、赤字になる。隠し事がばれる。
18	足が棒になる あし ぼうになる	長時間歩いたり立っていたりして、疲れて足がこわばる。
19	足に任せる あし まか	あてもなく気の向くままに歩く。足の力の続く限り歩く。
20	足の踏み場もない あし ふみばもない	物が散らかり、足をおろすすき間もない。